1 指示語・接続語

学習目標
- 文章を正確に読み取り、文脈をつかむために、指示語が何を指しているかを捉えよう。
- 接続語の前後のつながりを捉えよう。

要点のまとめ

●指示語

指示語とは？ 同じ言葉の繰り返しを避け、文章を読みやすくするために使う言葉。

例 これ・そこ・あちら・この○○・そのような○○・前者・以上

指示内容の捉え方

❶ 最初に、指示語を含む一文の内容を確認する。

❷ 指示語の指す内容は、指示語より前にあることが多いので、まずは指示語より前に注目し、指している内容を捉える。

例 庭に桜の木がある。それは祖母が植えたものだ。

❸ 指示語より後の内容を指していることもある。

例 彼はこう予想した。今年の夏は昨年より暑くなると。

指示内容の確認方法

- 指示語の部分に指示内容を当てはめてみて、文意が通ることを確かめる。

例 人間だれしも失敗したことはあるだろうが、その（＝失敗した）経験をどういかしていくかが重要だ。

●接続語

接続語とは？ 語句と語句、文と文、段落と段落をつなぎ、前後の関係性を表す働きをする言葉。

接続語の働き

順接	前で述べた事柄が、後で述べる事柄の原因・理由となる。 例 そこで・だから・すると・したがって・それで
逆接	前で述べた事柄とはくいちがう、逆の事柄を後で述べる。 例 しかし・けれども・だが・だけど・でも・ところが
並列 累加	前で述べた事柄と並べたり、付け加えたりする事柄を後で述べる。 例 また・および・そして・それから・なお・しかも
対比 選択	前で述べた事柄と後の事柄を比較したり、一方を選択したりする。 例 あるいは・それとも・または・もしくは
説明 補足	前の事柄をまとめたり、補ったりする事柄を後で述べる。 例 つまり・なぜなら・ただし・もっとも・すなわち・例えば
転換	前の事柄から話題を変える。 例 さて・ところで・ときに・では

確認問題

次のA・Bの文章を読んで、後の問いに答えなさい。

A

この数十年、薬を使ったり消毒したりして、細菌や寄生虫を体から一方的に追い出してきました。①それらは人間の健康にとって悪ばかりに見えますが、果たしてそうなのでしょうか。害虫を退治するために農薬を使ったくように文章中から抜き出しなさい。

(1) 指示語 ——線①「それら」とは、何を指していますか。文章中から抜き出しなさい。

ポイント 「それら」は複数のものを指す指示語。

(2) 指示語 ——線②「その天敵」とは、何の天敵ですか。「……の天敵。」に続

の天敵。

のに、②その天敵を殺してしまったために、かえって害虫が増えたということがありました。ものの一面を見ているだけでは間違うことがあるのです。

〈池内了「考えてみれば不思議なこと」より〉

B

「群れる」という戦略は、弱者の戦略として極めて有効である。

③しかし、群れることにはデメリットもある。④例えば、単独で行動していればエサを独り占めすることができるが、群れで行動する場合、エサが豊富になければ、エサのとりあいになってしまう。

また、群れを作ることは、ある条件を前提としている。それは、群れが天敵に見つかっても食べきられることがないということである。

群れていれば、天敵に襲われても、一匹が襲われている間に他の仲間が逃げることができる。⑤、何匹か食べられれば、天敵がお腹いっぱいになってしまう。⑥、群れることで多くの仲間が身を守ることができるのである。

ところが、もし捕食者があまりに強大で、いくらでも食べることができるということになると話が変わってきてしまう。群れているだけでは、一網打尽にされてしまうので、群れることが必ずしも良いとは限らないのである。

⑦群れることのできない弱い生き物が、強い者から逃れる手段には、どんなものがあるだろうか？

そのもっとも有効な手段が「逃げ隠れ」することである。

「逃げ隠れ」するというのは、何とも情けないような気もするが、そんなことはない。「逃げたり、隠れたりする」ことは、弱い生物にとって、とても重要な戦略なのである。

〈稲垣栄洋「弱者の戦略」より〉

ポイント　害虫退治のための農薬が、何の天敵を殺してしまったといっているかを考える。

(3)　指示語　――線「果たしてそうなのでしょうか」とありますが、ここで筆者はどのような疑問を投げかけていますか。「……という疑問。」に続くように、文章中の言葉を使って、二十五字以内で書きなさい。

という疑問。

ポイント　実質的に指示語の指す内容を答える設問。指示語が指す部分に含まれる別の指示語についても、指示内容を明らかにして答える。

(4)　接続語　――線③「しかし」・④「例えば」という接続語の働きとして適切なものを次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

③［　　］　④［　　］

ア　順接　イ　逆接　ウ　累加
エ　対比　オ　説明　カ　転換

ポイント　③…「極めて有効」だが「デメリットもある」と前後でくいちがう内容を述べている。
④…「群れることにはデメリットもある」と述べた後で例を挙げている。

(5)　接続語　［　　］⑤～⑦に当てはまる言葉を次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

⑤［　　］　⑥［　　］　⑦［　　］

ア　ところが　イ　あるいは
ウ　そのため　エ　それでは
オ　なぜなら

ポイント　⑤…一匹が襲われた場合と何匹か食べられた場合とを前後で並列している。
⑥…直前の二文を根拠として、「群れることで……できる」と述べている。
⑦…「群れる」という手段の話から別の手段の話へと話題を転換している。

演習問題

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1 きみは「フェアトレード」という言葉を聞いたことがあるだろうか？「先進国」の企業や消費者ばかりが得をして、「途上国」の生産者がいつも損をするような貿易（トレード）のしくみを改めて、もっと公正（フェア）な関係をつくろう、という国際的な活動のことだ。

2 ぼくは①そこに使われている「フェア」という言葉が大好きだ。そこには、「強弱」や「勝ち負け」の*二元論を超えようとする意志が感じられるから。

3 フェアは、だれかとだれか、何かと何かの間に成り立つ、関係性を表す言葉だ。これを「正しい」という言葉と比べてみるとわかりやすい。「正しい」は、自分だけでも成り立つ言葉だから、「ぼくが正しい」「いや、私が正しい」というふうに言い合うこともできる。そして②それがケンカのもとにもなる。いや、それどころか、戦争のもとにもなる。実際、戦争では「わが国が正しい」「いや、正義はこちらにある」とやり合う。そして、結果はたいがい、勝った方（軍事力や経済力が強い方）が「正しかった」ことになる。

4 これに比べて、「フェア」はどうか。「ぼくがフェアだ」「いや、フェアなのは私だ」「いや、きみはフェアじゃない」などと言い合うのは、どこか変だ。自分だけではなく、相手も「フェア」だと感じるからこそ、「フェア」。つまり、「フェア」は③双方の合意なしには成り立たない。相手がいればこその「フェア」、つまり、「お互いさま」なのだ。

5 すると、「フェアトレード」は、ちょっとおかしな表現だということになる。今ではトレードと言えば国と国との貿易を連想する人が多いが、もともとは、山と海の間、川上の村と川下の村の間など、地域同士、集団同士、さらには個人同士の間で行われる交易や交換のこと。その規模がどうであれ、トレードにおけるもののやりとりは、双方が「フェア」だと思うから、成り立ったのだ。一方が「フェア」だと思わないのに、やりとり

(1) 指示語 ——線①「そこ」とは、何を指していますか。文章中から十字以内で抜き出しなさい。

ポイント 「そこ」には、「フェア」という言葉が使われている、という内容が述べられていることをまず捉えてから、前の段落を確認する。

(2) 指示語 ——線②「それ」とは、どのようなことを指していますか。文章中の言葉を使って書きなさい。

ポイント 「それ」がケンカのもとにもなる」…どのようなことがケンカのもとになるのかを考え、「それ」より前を確認する。

(3) 指示語 ——線③「双方」が指しているものを二つ、文章中からそれぞれ一語で抜き出しなさい。

ポイント 「双方」は、二つのものを同時に指す指示語。似た言葉として「両者」がある。「前者・後者」「次のように」など、こそあど言葉以外の指示語にも注意する。

(4) 接続語 A～Cに当てはまる言葉を次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア すると　イ それとも　ウ 例えば
エ つまり　オ けれども　カ また

A [　　]
B [　　]
C [　　]

ポイント Aの前…トレードは双方が「フェア」だと思うから成り立つ
一方が「フェア」だと思わなければトレードではない　まとめて説明
Aの後…トレードとはその定義からして、「フェア」なのだ

を強制すれば、それはもうトレードではなく、「搾取」か「強奪」だ。

A、トレードとはその定義からして、「フェア」なのだ。

6　ではなぜ、「フェアトレード」などという活動があるのか。それは、現代世界で行われている貿易のほとんどが「フェア」ではなくなっているからだ。

7　B、「先進国」の人が着る服のほとんどは「途上国」で作られる。服をつくる「途上国」の労働者の多くが、生活にかかる経費よりも安い給料で、しかも劣悪な条件の中で、選択の余地があるならやりたくないような重労働に従事する。

8　C、こうした服づくりが、環境に悪影響を与えていることも知られている。「途上国」の自然は急速に汚染され、資源は枯渇し、人々、そして生物の健康も損なわれる。

9　さて、④こんな状態をきみはどう思うだろう。どう見たってフェアじゃないよね。D、これらのことは、どれも法律で禁じられていることではない。それどころか、世界中で認められている自由な経済競争の一部なのだ。こうしたしくみの中で大きな利益を得ている企業はもちろん、おかげでファッショナブルな服を安く手に入れて喜んでいる先進国の消費者たちは、⑤こう言うかもしれない。だれも強制されて働いているわけじゃない。「途上国」の政府も企業も労働者も、みんな「合意」の上でのことだから、これは「フェア」だ、と。

10　強い者がどんどん強くなり、弱い者がどんどん弱くなる。経済競争という枠組の中では、これもまた「フェア」だというわけだ。まるで「フェア」という言葉が、檻の中に閉じこめられてしまったかのようだ。

11　それを救いだして、また自由に羽ばたけるようにしてあげたい。⑥そういう思いをもつ人々が始めたのが、「フェアトレード」運動だ。

〈辻信一「弱虫でいいんだよ」より〉

（注）二元論＝対立する二つの原理であらゆることを説明しようとする考え方。

(5)　指示語　――線④「こんな状態」が指す内容が具体的に述べられているのは何段落から何段落ですか。段落番号で答えなさい。

［　　］～［　　］段落

ポイント　「こんな状態」…それまでの内容を指して、「どう思うか」と問いかけている。指示語が指す範囲は、一語程度の短いもの～複数の段落にわたる長い内容がある。

(6)　接続語　D　に当てはまる言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　それから　　イ　したがって　　ウ　なぜなら　　エ　でも

［　　］

ポイント　「フェアじゃない」↕「法律で禁じられていることではない」

(7)　指示語　――線⑤「こう言うかもしれない」とありますが、「こう」が指している部分を「……と言うかもしれない。」に続くように文章中から抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

［　　］～［　　］と言うかもしれない。

ポイント　「こう言うかもしれない」…先進国の消費者たちはどのようなことを言うかもしれないのか、と考える。指示語が指す内容は、常に前にあるとは限らない。

(8)　指示語・文章の把握　――線⑥「そういう思いをもつ人々が始めたのが、『フェアトレード』運動だ。」とありますが、「フェアトレード運動」をする人々の思いについてまとめた次の文の［　　］ⓐ～ⓒに当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ三字で抜き出しなさい。

■［ⓐ］だけが得をして［ⓑ］は損をし続けるような貿易のしくみを、双方が［ⓒ］だと思うものに改めたい。

ⓐ［　　］　ⓑ［　　］　ⓒ［　　］

ポイント　「そういう思い」…「思い」は、直前の一文で比喩を使って表現されている。1～10段落で述べられている、現代の世界貿易についての説明を踏まえて考える。

実戦問題

◆◇◆ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〈石川改〉

1 人は誰でも、心が明るく前向きになることもあれば、心が暗く後ろ向きになることもあります。私たちはなんとなく①前者が良いことで後者が悪いことだといった先入観にとらわれがちですが、これが間違っていることが明らかになってきました。

2 テンプル大学のアロイ教授らは、前向きな心理状態と後ろ向きな心理状態のときで、自らが置かれた現状をどれだけ正確に認識できているか、分析を行いました。その結果、後ろ向きなときは現状を正確に認識できている一方で、前向きなときは現状を過大に楽観的にとらえる傾向があることを突きとめました。前向きな場合は、現状に対する認識能力が低下し、状況を自分に都合よくゆがめて認識してしまう性質があるからです。

3 人間の脳にはこのような認知機能の特徴が備わっているため、ミスが許されない職業の場合は、無理に明るくする必要はなく、むしろ性格的には暗いほうが向いていると考えられます。たとえば、パイロット、弁護士、外科医などです。また、こうした職業以外の方でも、ふだんの仕事の中で、ミスが許されない状況に置かれることがあるでしょう。そんな場合は、②一時的に悲観的な性格に切り替えたほうがいいのです。

4 楽観的か悲観的かは、視野の広さにも影響を与えることがわかっています。

5 ミシガン大学のフレドリクソン博士らは、心理状態が前向きな場合と後ろ向きの場合で、視野の広さにどのような変化が生じるか詳細に調べました。その結果、楽観的なときは視野が広く、悲観的なときは視野が狭くなることがわかりました。

6 これは、③人間が生き残っていく上で大いに役立った機能だと考えられています。肉食動物や敵が襲ってきたとき、人間は悲観的になります。これに合わせて視野が狭くなると、命を脅かす肉食動物や敵だけに注意を集中できます。このことが、ピンチを乗り越えて生き残るのに都合が良かったのです。

7 一方、何も心配ごとがないときは、楽観的になる傾向があります。この場合は、視野を広げておくほうが好都合です。なぜかというと、本人が気づいていないだけで遠くから肉食動物や敵が近づいてきているかもしれません。また、視野が広いほうが、新たな発見ができる可能性も広がります。

8 また、フレドリクソン博士らは、心が前向きか後ろ向きかによって、視野の広さだけでなく、思考の枠組みも広くなったり狭くなったりすることを突き止めました。

9 悲観的になったときは、目の前にあることしか考えられません。つまり、考えが及ぶ範囲が狭いということです。やはり、目の前にある危機に思考力を集中させるのに役立つと考えられています。

10 一方、楽観的になったときは、目の前のこととは直接は関係のないことにも連想が及びます。これによって、発想力が高まるのです。平和なときは、目の前のことに集中力を高める必要はありません。それよりも、現状とは無関係である余計なことも考えることによって、画期的な発想が生まれる可能性も高まります。これが将来のために役立つわけです。

11 何か良くないことが起こったときは、生命にとってピンチです。だから、私たちの脳は、落ち込むと同時に、ミスをしにくい脳機能にシフトしているのです。④、ミスをしにくくなるのと引き換えに、自由闊達にアイデアを生み出す発想力は低下してしまいます。⑤、人生のピンチでは、発想力よりも判断ミスをしないほうが大切です。下手にアイデアに頼るより、保守的な判断を下したほうが生き延びる確率が高まるからです。

12 一方、良いことがあったときは、人生の攻めどきです。だから、陽気になると同時に、私たちの脳機能は無意識のうちに発想力を高めています。それと引き換えに、ミスをしやすい脳機能に陥っているのですが、順調なときは、致命傷にはならないでしょう。⑥

13 このように、目に見える範囲の広さと、考えが及ぶ範囲の広さは、楽観的か悲観的かによって互いに連動しながら、広がったり狭まったりしているので

す。実に合理的な仕組みだと言えます。

14　良いことがあればついつい浮かれてしまう。良くないことが起これば落ち込んでしまう……。こうした心理的な揺らぎは、人間の弱さの象徴のように世間では考えられています。でも、⑦こうしたとらえ方は、少なくとも脳機能の評価としては間違いです。地球上のありとあらゆる場所に進出できた人間の強さは、むしろ、心理的な揺らぎに支えられていたからだと言えるのです。

※一部省略等があります。　〈吉田（よしだ）たかよし「世界は『ゆらぎ』でできている」より〉

(1)　指示語　――線①「前者」とは、何を指していますか。文章中から抜き出しなさい。

(2)　指示語・理由　――線②「一時的に悲観的な性格に切り替えたほうがいい」と筆者が考えたのはなぜですか。アロイ教授の分析結果をもとに書きなさい。

(3)　指示語・要点　――線③「人間が生き残っていく上で大いに役立った機能」とありますが、敵から身を守って生き残る上では、何がどのように役立つと筆者は述べていますか。次の文の［　］A～Cに当てはまる言葉を、Aは文章中から三十字以内で抜き出して初めと終わりの五字を書き、Bは五字で抜き出し、Cは三字以上五字以内で考えて書きなさい。　要点↓14ページ

▪［A］という機能が、敵に襲われたときは目の前の敵に［B］することに役立ち、何も心配ごとがないときは、遠くから近づいてきた敵にいち早く［C］ことに役立つ。

A　～

(4)　接続語　［　］④・⑤に当てはまる言葉の組み合わせとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　④＝ただし　⑤＝でも　　イ　④＝つまり　⑤＝また

ウ　④＝しかし　⑤＝さて　　エ　④＝やはり　⑤＝なお

B　C　3

(5)　指示語・接続語　――線⑥「このように」が指している範囲を含むのは何段落から何段落ですか。段落番号で答えなさい。

［　］～［　］段落

(6)　指示語・筆者の主張　――線⑦「こうしたとらえ方は、……間違いです」とありますが、筆者がこのように判断した理由について、フレドリクソン博士が調べた結果を踏まえてまとめました。次の文の［　］A～Eに当てはまる言葉を、A・Bは二字、C・Dは三字、Eは五字で文章中から抜き出しなさい。

▪心理的な揺らぎによって、［A］と［B］の枠組みとを、状況に応じて広げたり狭めたりすることで、［C］や［D］を高めるという脳の合理的な仕組みが機能し、それが［E］を支えているから。

A　B　C　D　E

ポイント

(4)　接続語の組み合わせを選ぶ…まず［④］に当てはまりそうな接続語を選び、次に組み合わせの接続語が［⑤］にうまく当てはまるか確認する。［④］を先に選ぶのが難しいときは、［⑤］を先に考えて［④］を確認してもよい。

(5)　「このように」…指示語でもあり、接続語でもある。それまでに述べた内容を踏まえてまとめて説明したり、次につないだりする言葉。「つまり」「以上のように」などと同じような役割をもっている。